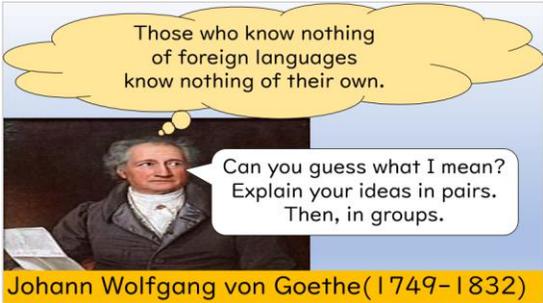


# Lesson1 The Blue White Shirt

（教科書 pp.8-21）

## 【Introduction】教科書 pp.8-9

時	学習・活動の内容;教師による指導・支援	ねらい・留意点・評価等（新指導要領との関連）
<p><b>Step1</b> 単元の タイトル を活用 した 活動  10分</p>	<p>①あいさつ。 ②教科書を開かないよう指示。 ③*ワークシート配布（*別紙<b>Step1</b>参照） ④<b>パワポ</b>等（板書可）で本課のタイトルである“The Blue White Shirt”ということばを提示し、このことばから脳内に浮かぶ映像を横ペアと協働して描くよう指示。<b>Step1(1)</b> 【<b>パワポ例</b>】</p>  <p>⑤描いた絵を前後のペアと見せ合うよう指示。 <b>Step1(1)</b> ⑥“The Blue White Shirt”ということばを見た時に感じたことをペアでやりとりさせる。<b>Step1(2)</b></p>	<p><b>【活動のねらい】</b> ・単元のテーマである和製英語とのつながりもあり、単元のテーマに生徒を効果的に引き込む効果をねらう。 ・タイトルから来るイメージは個々に異なることが想定される。他者との発想の違いや多様性を楽しむことにつながる。</p> <p><b>【留意点】</b> ・教科書を開くとThe Blue White Shirtの絵が印刷されており、ネタバレになるため、教科書は閉じたまま行う。 ・日本語可。</p> <p><b>【評価】</b> 「学びに向かう力・人間性」 「思考・判断・表現」</p>
<p><b>Step2</b> タイトル 下にある 名言を 活用した 活動  12分</p>	<p>①ワークシート<b>Step2</b>を見るよう指示。 You can see an English proverb,名言, proverb on the worksheet. It says “Those who know nothing of foreign languages know nothing of their own.” Let’s learn about this proverb. Now, look at the screen. のように指示し、②へ。 ②<b>パワポ</b>（板書可）でゲーテのことばを提示。 【<b>パワポ例</b>】</p>  <p>③“Those who ...” というフレーズの意味をヒントとして提示した上で、ゲーテのことばの日本語訳をペアで考えさせる。<b>Step2(1)</b> ④教師が教室全体に声掛けし、生徒からの発言を拾いながら日本語訳を全体で確認。<b>Step2(1)</b> ⑤<b>パワポ</b>で画像を見せながらゲーテが言語学習の達人であったことを紹介し、“Those who ...” のことばの重みを理解させる。</p>	<p><b>【活動のねらい】</b> ・日本語訳ができて、そのことばがなにを伝えているのかを正しく受け止めるには思考の深さが求められる場合がある。ゲーテのことばはそれに当たる。生徒の深い思考を刺激する。 ・現段階ではゲーテのことばを具体的に説明することは困難である。しかし、単元の学びを通じて生徒はそれができるように変容する。「難しい」という実感を持たせたところで目標を提示することで、「なにができるようになるのか」を生徒と明確に共有することをねらう。</p> <p><b>【留意点】</b> ・生徒の実態に応じて、「思考」にフォーカスするなら日本語、「表現」にフォーカスするなら英語で話し合わせる等の配慮をする。</p> <p><b>【評価】</b> 「思考・判断・表現」</p>

	<p>⑥ゲーテのことがメッセージとしてなにを伝えているのかについて具体例を交えてペアで話し合うよう指示。日本語の使用可。<b>Step2(2)</b></p> <p>⑦正解例等は示さず、「ゲーテのことがの意味を説明できる状態になること」を目標に単元の学びに向かうということを生徒に伝える。</p> <p><b>*単元末にゲーテのことがを説明する英作文タスクを実施。</b></p>	
<p><b>Step3</b></p> <p>Take a Moment to Think</p> <p>①</p> <p>8分</p>	<p>①ワークシート<b>Step3</b>を参照させる。</p> <p>②2つの質問から、ペアの相手に聞きたい質問を1つ選ぶよう指示。<b>Step3(1)</b></p> <p>③ペアでジャンケンをし、winnerがinterviewer、loserがintervieweeになるよう指示。<b>Step3(2)</b></p> <p>④先にwinnerがloserに1分間インタビューをし、その後loserがwinnerに1分間インタビューをするよう指示。<b>Step3(2)</b></p> <p>⑤ワークシート記載の<b>3Rs</b>を活用して対話するよう指示。<b>Step3(2)</b></p> <p>⑥ワークシートのSelf-assessmentで3Rsの活用状況を自己評価させる。</p> <p>⑦ワークシートのLearn at home to enjoy talking in English more in future classes に必要事項を記入させる。</p>	<p><b>【活動のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のトピックに関連した問いを用いて自己の経験について話すことで、「自己関連性」を生み出し、単元のトピックと生徒をつなぐ。</li> <li>・interviewという「場面」を設定することで、対話の「目的」やペアの役割等を明確にする。</li> <li>・3Rsを活用することで「やり取り」や「即興」の力が高まることをねらう。</li> <li>・自己評価や伝えられない語句を調べさせることで、自立的な学びにつなぐ。</li> <li>・⑨、⑩の活動を通じて、英語と日本語の違いを知ることが混乱を防ぐことにつながる点に気付かせ、言語学習の意義・大切さを伝え、今後の英語学習の動機づけにつなぐ。また、Section1の学びに接続する効果もねらう。</li> </ul>
<p>Take a Moment to Think</p> <p>②</p> <p>5分</p>	<p>⑧教科書を開かせる。</p> <p>⑨教科書の写真を見て、カタカナを探し、英語として通じるカタカナと英語として通じないカタカナに分類したものをワークシートに記入するよう指示。 (2分間)<b>Step3(3)</b></p> <p>⑩パワポ(板書)で、写真にあるカタカナについて、英語として通じるカタカナと英語として通じないカタカナの例を提示。</p> <p>⑪英語と日本語の違いを正しく理解しておかないと誤解が生じる可能性があるという点について簡潔に言及する。</p>	<p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑩の例示は教師の負担にならないようにそれぞれ3つずつくらいに留める。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>「学びに向かう力・人間性」 「思考・判断・表現」</p>
<p><b>Step4</b></p> <p>What's the Topic?</p> <p>10分</p>	<p>①Now, what's the topic of Lesosn1? Look at the text. The text says, "Steve is an American high school student studying Japanese. At first, Japanese was easy. There are lots of English words." Let's listen about Steve and think about the topic of this lesson, but before that, let's learn some new words. のように話し、ワークシート<b>Step4(1)</b> 記載の語を教師の後に続いてリピートさせ、意味と音を確認。</p> <p>②音声を聞き、スティープについて説明することを前提としてワークシートにキーワードを記入するよう指示。<b>Step4(2)</b></p> <p>③理解した内容をキーワードを用いてペアで説明し合うよう指示。<b>Step4(3)</b></p> <p>④Learn at home to enjoy talking in English more in future classes を記入するよう指示。</p>	<p><b>【活動のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体の概要を短くまとめた英文に触れることで単元の学びへのreadinessを高める。</li> <li>・キーワードを活用して英語を発話する経験をさせることで、後のリテリング活動への足場架けにする。</li> <li>・ListeningからSpeakingへの技能統合。</li> </ul> <p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングの回数は生徒の実態に応じて判断する。ただし、1回のみ場合はその旨を生徒に指示してから聞かせるように配慮する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>「知識・技能」</p>

<p><b>Step5</b> Targets 3分</p>	<p>* 目標クリアシート（*末尾の別紙参照）を配布し、単元の目標と英作文のテーマを確認するよう指示。</p>	<p>・教科書を学ぶ目的を教師と生徒で共有する。 ・自己設定目標を書かせることで生徒の自立を促す</p>
<p><b>Step6</b> 宿題 提示 2分</p>	<p>①ワークシート<b>Step6</b>に記載された宿題を指示。 ②教科書p.9 Informationに記載されているカタカナも「教科書に載っているカタカナ」とし、宿題で調べてくるカタカナに含めないよう指示。 ③「家庭学習＝授業中の活動の準備」という点を強調し、しっかり取り組むよう指示。 ④あいさつ</p>	<p>・自立的な学びの促進。 ・教科書に記載されている情報の有効利用。 ・「他者貢献」のために学ぶという意識付け。 ・Section1への学びに効果的につなぐ。</p>

**【Section 1】教科書 pp.10-11**

時	学習・活動の内容；教師による指導・支援	ねらい・留意点・評価等（新指導要領との関連）
<p><b>Step1</b> Warm-up Quiz 10分</p>	<p>①あいさつ、ワークシートを出すよう指示。 ②宿題で調べて来た「英語としても通じるカタカナ」、「英語としては通じないカタカナ」を用いてクイズ問題を作成することを伝える。<b>Step1(1)</b> ③ワークシートのFunctional Expressionsを、意味を確認しながら教師の後についてリピートさせ、クイズ出題の際活用するよう指示。<b>Step1(1)</b> ④③を用いて1分程でクイズ出題の準備をさせる。<b>Step1(1)</b> ⑤ペアでクイズを英語で出題し合うよう指示。 Janken winner, first. <b>Step1(2)</b></p>	<p><b>【活動のねらい】</b> ・Introduction、家庭学習、Seciton1導入への流れを自然なものにする。 ・クイズという「場面」を設定し対話を楽しむ。 ・家庭学習が授業中の「交流」につながることを体感させる。</p> <p><b>【留意点】</b> ・教科書は閉じた状態で行う。 ・宿題をやってきていない生徒に対しては、④の準備時間でその場で考えるよう指示。</p> <p><b>【評価】</b> 「学びに向かう力・人間性」 「知識・技能」</p>
<p><b>Step2</b> Listening 14分</p>	<p>①Now, you will listen to Seciton1 text. In Section1, you will learn more examples of 英語としても通じるカタカナ and 英語としては通じないカタカナ. What is it? Let's enjoy learning! のようなことばでつなぎ、ワークシート<b>Step2(1)</b>を見るよう指示。 ②音声を聞き本文に出てくるカタカナが「英語としても通じるカタカナ」なのか「英語としては通じないカタカナ」なのかを聞き取り、ワークシートに記入するよう指示。<b>Step2(1)</b> ③ワークシートの絵の周りに聞きながらキーワードを記入し、What happened to Steve?という問いに対して英語で説明する活動を後に行うことを伝える。<b>Step2(2)</b> ④(1)の答えをペアで確認し、絵とキーワードを活用して理解した内容をペアで説明し合うよう指示。 Janken winner first. <b>Step2(3)</b> ⑤complicated, discover that, recognizeをパワポ等で提示し、教師の後にリピートさせて音と意味を確認させる。<b>Step2(4)</b> ⑥もう1度音声を聞かせ、(3)の活動に取り組ませる。<b>Step2(5)</b></p>	<p><b>【活動のねらい】</b> ・Warm-up Quizからの自然な接続。 ・ListeningからSpeakingへの技能統合。 ・教科書の挿絵を用いてリテリングをすることで概要を掴む。 ・語彙学習の前後で理解度が変わることを体感させ語彙学習への意識を高める ・1回目と2回目の「差」や「成長」に気付かせることで、「学びに向かう力」の伸長をねらう。</p> <p><b>【留意点】</b> ・教科書は閉じたまま。 ・期間巡視中にリテリングがうまくできている生徒がいても、全体シェアはなし。ネタバレが生じ、次のReadingをする意義がなくなるため。</p> <p><b>【評価】</b> 「学びに向かう力・人間性」 「知識・技能」</p>

<p><b>Step3</b> Reading</p> <p>14分</p>	<p>① OK, have you enjoyed talking? I think you have, but can you explain what happened to Steve? Maybe not, so let's learn more about Steve by reading the text. Now, you can open your textbook! のようなことばでつないで、ワークシートに記載された<b>Questions</b> (=教科書 p.11のQuestions) にまずは1人で取り組み、その後ペアで相談するよう指示する。<b>Step3</b>①~③</p> <p>② 大体の生徒が記入を終えた頃合いで、全体で答えを確認する。</p>	<p><b>【活動のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の要点を読んで理解する力を養う。</li> </ul> <p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えを確認する際は生徒の声を拾うことを優先し、教師が先に教えることを避ける。「生徒主体」の授業を築く基本として。ただし、生徒の力だけでは困難な部分については簡潔に説明し、必要な支援は行う</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>「知識・技能」</p>
<p><b>Step4</b> 音読準備</p> <p>10分</p>	<p>① サイトトランスレーションシートを出すよう指示。</p> <p>② ペアで本文を自分たちの力で同時読み (overlapping) し、理解できない英文に「？」を書くよう指示。(内容の確認) <b>Step4(1)</b></p> <p>③ ペアで本文をもう一度同時読みし、発音が分からない単語に下線を引くよう指示。(音の確認) <b>Step4(2)</b></p> <p>④ グループになり、不明箇所について話し合うよう指示。(時間があれば) <b>Step4(3)</b></p> <p>⑤ 生徒同士の学び合いが優先。それでも解決できない場合、教師に質問して良いと伝える。</p>	<p><b>【活動のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない発音や英文に対して「知りたい」という気持を高め、家庭学習の動機づけにする。</li> <li>・学び合い、助け合いが自然に機能する学習集団の形成。</li> <li>・不明点の自力解決を促し、自立した学習者の育成をねらう。</li> </ul> <p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自立した学びや、生徒同士の学び合いを優先し、教師が先に教えない。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>「学びに向かう力・人間性」</p>
<p><b>Step5</b> 宿題 指示</p> <p>2分</p>	<p>① 以下を宿題として指示。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトトランスレーションシートを熟読し、不明箇所を調べ、理解を深める。</li> <li>・本文の音声を聴きながら、正しく音読できるように練習する。</li> <li>・ワークシート<b>Step5</b>の絵に適切なキーワードを書き込み、リテリングの練習をする。</li> <li>・教科書 p.11、<b>Your Reaction</b>の問いに対する「自分なりの考え」を言えるように準備する。</li> </ul> <p>② あいさつ</p>	<p><b>【活動のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1人でできること」は家庭学習、学校では「他者との交流優先」という流れを創る。</li> <li>・「知識・技能」の向上。</li> <li>・自立的に学ぶ姿勢の向上。</li> </ul> <p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習が次の時間での交流につながるという点を伝える。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>「学びに向かう力・人間性」</p>

Step0 単元の目標を確認。単元の学びが終わったら自己評価をし、後の学びにつなげます。

【Targets】

Topic : An English speaker's experience with *wasei-eigo* in Japan

Give It a Try! : ●Talking about examples of *wasei-eigo* ●Writing a short passage

Grammar for Communication : ①to 不定詞 ②動名詞

【Goals and self-assessment】

A:よくできる B:できる C:まだできない。今後の努力で克服する。

Goals	Self-assessment
「学びに向かう力・人間性」:①、② 「知識・技能」:③、④ 「思考・判断・表現」:⑤、⑥	
① <b>自己設定目標</b> 自分なりの目標を設定し、達成のために努力しよう! 自立した学習者になるために!	A B C
②主体的に学ぶ姿勢を持ち、他者と協働して学び合うことを楽しむことができる。	A B C
③単元のトピックや英文を正しく理解し、本文を適切に音読することができる。	A B C
④単元のトピックや英文を正しく理解し、リテリングで他者に理解した内容を伝えることができる。	A B C
⑤スピーキング活動で自分の思考を適切に表現することができる。	A B C
⑥単元のトピックをテーマにした英作文で、自分の思考を適切に表現することができる。	A B C
⑦授業で印象に残ったこと、感想等、自由に。 <u>英語でも日本語でも OK。</u>	

[担当者評価欄] [ A : 全部書いてある B : 半分以上書いてある C : 半分に満たない ]

Goal Writing \*Correction Code を記入して返却します。その後どう直すか分からない場合、個別に質問 OK!

“Those who know nothing of foreign languages know nothing of their own.”

ゲーテの言葉について、教科書からの学びを交えて説明する文を書いてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

[担当者評価欄] A : ゲーテのことばの意味を教科書からの学びを交えて説明できている。

[ A / B / C ] B : ゲーテのことばの意味を説明できている。

C : ゲーテのことばの意味を説明できていない。

Lesson1 **The Blue White Shirt** Introduction Class No Name

**Step1** Enjoy the title. \*Don't open your textbook yet.

- (1) Guess what a "blue white shirt" looks like, draw a picture of it in pairs, and show the picture to another pair.
- (2) How did you feel when you saw the title, the Blue White Shirt?  
Talk in pairs.

Picture
---------

**Step2** Think deeply of the proverb and share ideas.

**"Those who know nothing of foreign languages know nothing of their own."**

- (1) What does the sentence above mean? Talk in pairs. Hint : those who ~ 「～の人たち」
- (2) What is the message of the word? Can you explain in your own words? Talk in pairs. Japanese OK.  
上の文が伝えようとする「メッセージ」を「例」も含めて考えてみよう。

メッセージ	例えば

**Step3** Take a Moment to Think.

- (1) Choose one question which you want to ask your partner from 1 and 2.
    - 1. What was your biggest problem in studying English in junior high school?
    - 2. Have you ever been on homestay? If not, would you like to try?
  - (2) Play janken. Janken winner is an interviewer. Janken loser is an interviewee.
    - ① Janken winner starts the interview and keep talking for one minute.
    - ② Change the role. Janken loser starts the interview and keep talking for one minute.
- ☆Use \* "3Rs" and enjoy talking! \*Respond, Recast, Request more information

[Self-assessment]

Respond	Recast	Request more information	Keep talking
A / B / C	A / B / C	A / B / C	A / B / C

[Learn at home to enjoy talking in English more in future classes]

英語で言えなかった単語や表現	調べてみて分かった英単語や英語表現

- (3) Look at the photo. Find out English words that are written in *katakana*, talk in groups about which katakana can be used as English and which katakana cannot be used as English. Two minutes!

英語としても通じる (?) カタカナ	英語としては通じない (?) カタカナ

- (4) Look at the screen, check the answer, and talk in pairs how you have felt to see the answer.

**Step4** What's the Topic?

- (1) Learn some vocabulary before listening.

①confusing	困惑・混乱させる	②imagine	想像する
③match A with B	AとBを組み合わせる	④confused	困惑・混乱した

- (2) What can you learn about Steve? Now, listen and write some keywords below.

--

- (3) Explain what you have learned about Steve as much as possible. In English! Janken winner first!

[Learn at home to enjoy talking in English more in future classes]

英語で言えなかった単語や表現	調べてみて分かった英単語や英語表現

**Step5** Check lesson targets.

Read **Step0** and **Goal** on another worksheet

**Step6** Homework(Homework *wakuwaku*?)

- 1 Speaking 活動で言えなかった単語や表現を調べ、分かった情報を書く。
- 2 教科書 p.10 以降を読みたい欲求を我慢する。
- 3 教科書 p.8,9 には載っていない、「英語でも通じるカタカナ」、「英語では通じないカタカナ」をそれぞれ最低1つずつ以上調べ、下の表に書いてくる。次の授業の最初の活動でこれを用いたクイズをします！この宿題を忘れるとクイズに参加できません。クイズが盛り上がるネタが見つかるといいですね。

英語としても通じる (?) カタカナ	英語としては通じない (?) カタカナ

Lesson1 **The Blue White Shirt** Section1 Class No Name

**Step1** Warm-up Quiz. \*Talk in English.

(1) Get ready to ask your partner some questions.

[Functional Expressions]

Do you think [ ] can be used in English? / Which can be used in English, [ ] or [ ]?

Er, let me see, / Um, let me think, / I'm afraid I have no idea.

You're right. / You're wrong. / Oh, really. / I didn't know that. / That's surprising.

(2) In pairs, ask each other quiz questions and enjoy it. Janken winner, ask questions first. Then, change the role.

**Step2** Listening. \*With your textbook closed

(1) Choose correct *katakana*, and write them in the chart below.

[ サイダー / スプーン / テーブル / マグカップ ]

英語として通じるカタカナ	英語として通じないカタカナ

(2) Write some keywords around each picture to grasp the main idea.



(3) What happened to Steve? Explain in pairs with the pictures and keywords you have written. Also, check the answer of (1) in pairs. Janken winner first.

(4) Let's learn some new words. Look at the screen and fill in the blanks.

① ( complicated )	② ( discover that~ )	③ ( recognize~ )
( 複雑な )	( ~ということを知る )	( ~を認識する )

上記3語を黒板かスクリーンで提示して学習

(5) Listen again. Then, try (3) one more time.

**Step3** Reading for the main idea.

First, read the text and answer the following questions by yourself. Then, talk in pairs.

①Who is Steve?

②Why was Steve surprised?

③When Steve says, "Learning Japanese is a piece of cake," he means

a. it is as easy as eating a cake.

b. he is not really interested in it.

c. it is as difficult as making a cake.

**Step4** Check the sound and meaning to get ready for *ondoku* homework. \*With サイトラシート on your desk.

(1) Do *doujiyomi* (同時読み) in pairs and write question marks on the sentence you cannot understand.

(2) Do *doujiyomi* again with a different partner and circle the words you cannot pronounce.

(3) Talk in groups about your questions. You can ask your teacher questions if necessary.

**Step5** Homework

(1) サイトラシートを熟読し、不明箇所を辞書で調べ、理解を深める。\*単語シートにも取り組む。

(2) 本文の音声を聴きながら、正しく音読できるように練習する。\*新出単語英英定義のシート

(3) (1)、(2) 実施後、下の絵に“適切な” キーワードを書き込み、本文の内容を retelling できるように練習する。次回の授業で友達に向けて発表するのでしっかり練習しよう!

(4) 教科書 p.11 Your Reaction の問いに対する「自分なりの考え」を英語で言えるように準備する。

